

令和3年度白鳥ふたば保育園事業報告

*事業計画を踏まえて重点的に行ったこと

- 1, 保育の全体像である「全体的な計画」に基づいて保育実践を行った。
幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を目指し、各年齢に応じた生活面（食事、排泄、睡眠など）の見直しや共通理解を行った。
- 2, 新型コロナウイルス感染予防に心掛け、マニュアルを見直し環境を整え感染対策を強化してきた。
- 3, 子ども達が安心して過ごせる環境作りのために、ロッカーの移動、2歳児のトイレ扉の設置、本棚を購入した。

*今年度新たに取り組んだこと

- 1, 保護者参加の行事（保育参加、運動会、緑日など）が中止になったが、取り組み方を工夫し、ICTを活用して子どもの遊びや生活の様子を動画や写真、手紙などできめ細やかに配信した。緑日、運動会は子ども達だけで行い運動会の様子はDVDにして各家庭に配布した。
- 2, 新型コロナウイルスの感染対策の業務負担として、危険手当の支給を行った。

*課題

- 1, 集団保育や長時間保育の自粛傾向があり、一時保育と延長保育の利用者が減少したなかで、今後の事業展開を考える。
- 2, 指導計画の見直しや、研修の積極的な参加など一人ひとりの保育力の向上とチームワークの構築を目指す。
- 3, リーダー層の育成と、個々の職員の仕事に対する意識を育てていく。

